

○この計画は、新型コロナウイルス感染症拡大時に、本校が学級閉鎖や休校等においても教育活動を継続するために準備をするものです。

【基本方針】

- 生徒の生命及び健康の保護を最優先とし、事態の推移に迅速・的確に対応する。
- 生徒の学習機会を確保し、教育活動に及ぼす影響を軽減する。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大を可能な限り抑制するために感染防止対策を徹底する。

【行動基準】

レベル1・・・十分な感染防止対策（※）を行って実施する。

※手洗い・うがいの励行、マスクの着用、健康チェックカードによる確認、黙食 等

レベル2・・・感染リスクの高い活動（※）を停止する。

※調理実習、合唱、管楽器の演奏、近距離で行う共同実験、近距離での運動 等

レベル3・・・継続しなければならない活動（※）を優先して実施する。

※感染防止対策、陽性者対応、3年進路指導、3年教科指導 等

各活動の優先順位は次のように考えています。

1 新型コロナウイルス感染症対応により新たに発生する業務

- 陽性者対応：心身のケア、学習保障
- 生徒対応：感染予防、学習保障、コロナ・ハラスメント防止
- 保護者対応：対応状況の説明
- 市教委対応：状況把握と報告
- 学校医・保健所等対応：調査・検査等対応

2 継続しなければならない教育活動

- 感染防止対策
- 3年進路指導（特に進路懇談、出願関係事務）
- 3年教科指導（特に国社数理英 ※オンライン授業を含む）
- 行事のうち、特に重要なもの：卒業式（内容等を吟味して実施）等

3 工夫して実施する教育活動（場合によっては縮小・延期も考える）

- 学習保障（オンライン授業（双方向）、タブレット学習（教材の提供））
- 行事のうち、感染リスクがないもの：オンライン活用 等

4 積極的に中止する教育活動

- 感染リスクの高い活動：校外学習、学外からの来訪 等

【長期間登校できない場合の対応】

学級閉鎖・自宅待機期間には、オンライン授業に加え、次のような対応を実施します。

○オンライン朝の会・帰りの会

- ・オンライン授業実施日は、朝の会（8時15分～）、帰りの会（15時～）を行います。
健康状態を把握するとともに、通常登校日に近い日課を継続することで規則正しい生活を維持するよう指導します。

○オンライン二者面談

- ・必要に応じて学級担任等とのオンライン二者面談を位置付け、健康面、精神面、学習面、人間関係等の心配がないかを聞き取ります。

○オンライン学習相談

- ・帰りの会終了後の1時間は学習相談の時間とし、オンライン授業やタブレット学習、その他の学習でできなかった（わからなかった）課題や学習の進め方等について、直接質問ができるようにします。

☆いずれもタブレットを利用しますので、土日も含めて毎日持ち帰ります。情報モラル、パスワード管理を含めて、家庭でのタブレット利用について繰り返し指導します。

【教育相談】

学級閉鎖・自宅待機期間中のお子さまの教育相談について、次のような不安のある保護者の方は遠慮なく学校にご連絡ください。

- ①入試等進学にかかわる相談
- ②自宅での学習についての相談
- ③その他の困りごとの相談

【教職員の健康管理】

○感染が疑われる場合（※）は出勤をしません。

※教職員本人や教職員の同居の家族が濃厚接触者となったり発熱等の症状があったり、PCR検査等を受検する など

○休日を含めた毎日の健康チェックの実施

○感染リスクの高い活動の回避

☆教職員が出勤できない場合、他の教職員による代替授業を実施します。なお、出勤できないが在宅勤務が可能な場合には、教職員が自宅からオンライン授業に参加することがあります。